

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1280414
施設名（園名等）	八王子実践幼稚園

1 活動のテーマ

<テーマ>

感覚遊び「Bブロック」

～五感や身体感覚を使って、様々な素材の感触、音、匂いなどを楽しむ遊び～

<テーマの設定理由>

Bブロックとビー玉を使って、ピタゴラ装置を楽しむ姿があった。より複雑なコースで滑らかにビー玉を転がすために、仲間と話し合い、工夫する姿が見られるようになった。さらに様々な用途の道具を使うことで、装置を装置を作ることへの探究心をより深めるため、このテーマに設定した。

2 活動スケジュール

- ・大きな作品を、継続して仲間と協力して作れるように、ホールに大ブロックやBブロックを広いスペース(ホール)に常時設置した。
- ・様々な組み合わせられるよう、ジョイントパーツや、スロープパーツを用意した。
- ・様子はメモ・写真にて記録し、職員間で共有する。
- ・保護者にはホームページにて共有する。

3 探究活動の実践

<活動の内容>

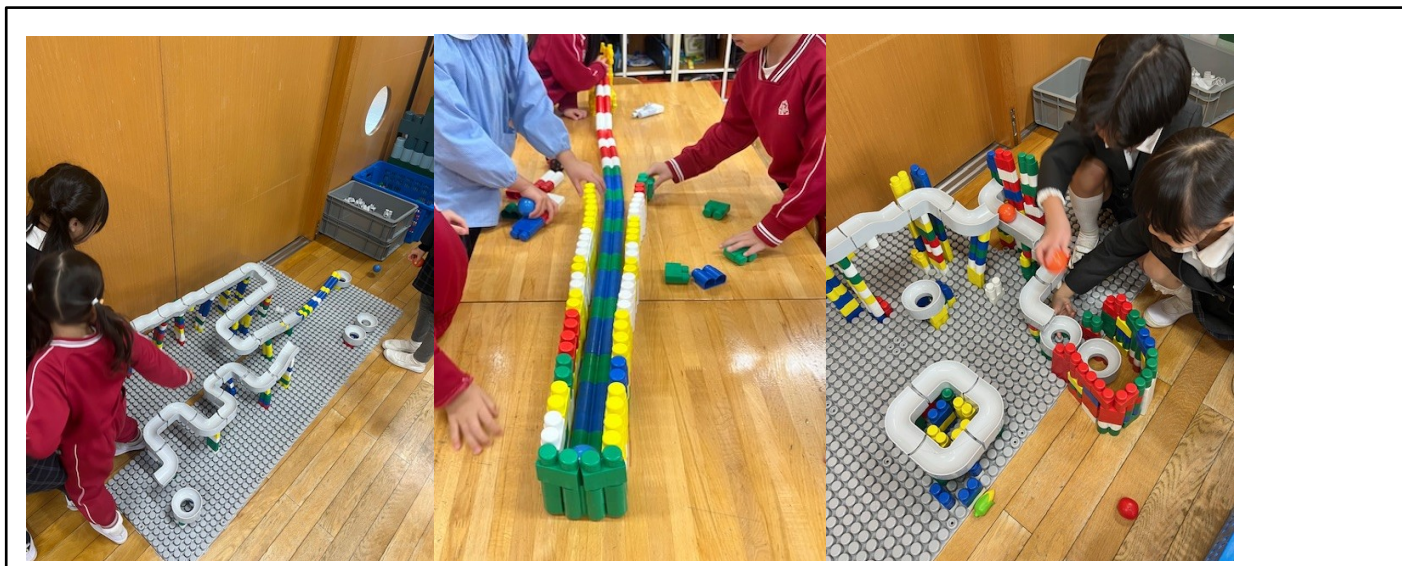
- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

<環境設定>

継続的に遊びが発展するように、作ったものを壊さずに置いておく。(広いホールに設置)

<活動の様子>

- ・どうやったら倒れずに組み立てられるか、よく考えながら組み立てられる様子が見られる。
- ・パーツの数を揃え、外れたり倒れたりしない様工夫したり、あえてパーツを外し、空間を作る工夫も見られた。
- ・ブロックの高さや長さにより、球の転がる速さが変わること気づき、友だちと、より速く転がるコースを作るための話し合いをする様子も見られた。



4 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

継続的に遊べるスペースを常時、確保したことにより、子ども達の中で「昨日できなかったからこうしてみよう」と話し合ったり、「どうしてだろう」と繰り返し工夫していた。子どもたち自身が考え、解決策を導き出し、より理解を深める環境を作るには、こうして遊びの継続を意識することが大切だと感じた。

子どもたち同士の「～だから、こうすると速くなるんだ」「ここを高くするといいよ」といった会話が増え、交友関係の広がりも感じる事ができた。